

決議案第1号

アメリカ合衆国の未臨界核実験に抗議し、世界の恒久平和を求める決議

アメリカ合衆国がネバタ州において、今年2月に核爆発を伴わない未臨界核実験を実施したことを明らかにした。

国連では、2017年7月に核兵器禁止条約が採択され、国際社会が核兵器のない世界の実現に向けて努力する中、こうした行為は核廃絶に向けた世界の潮流に逆行するものである。

本市議会では1984年に核兵器廃絶に関する決議を可決している。また、市では「青い海とみどり豊かな平和都市」を都市宣言として定め、2004年には非核平和都市宣言を行っており、私たち逗子市民は核兵器のない平和な世界の実現に向けて努力することを決意している。

よって、逗子市議会はアメリカ合衆国に対し、未臨界核実験に断固抗議し、今後はあらゆる核実験を中止し、核兵器のない世界と恒久平和の実現に向けて主導的役割を果たされるよう強く求めるものである。

以上のとおり決議する。

令和元年6月27日

逗子市議会